

---

# 三田苦勞す!!

明日は明日の風が吹く

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

三田苦勞す！！

### 【Nコード】

N0855U

### 【作者名】

明日は明日の風が吹く

### 【あらすじ】

「夢はお金持ちになること！」  
大きな夢を胸に、一人の男、「三田<sup>みた</sup>」は只今、就職活動中。  
数々の会社の面接で採用されなかった三田にチャンスが… そんな  
三田の次の仕事は「サンタさん」！？  
果たして、三田は「サンタさん」になれるのか？  
そして、大きな夢をかなえられるのか？

## 第0章・1話：プロローグの時（前書き）

12月24日、夜。

リンリンリン、リンリンリン……

全世界の良い子は、毎年この人を楽しみに行っている。

はるか上の空を、鈴の音と共にやってくる、そう、あの人を……  
サンタクロース。

通称『サンタさん』を……！！

## 第0章・1話：プロローグの時

〽XX11年12月24日〽

「ジングルベル、ジングルベル、鈴が鳴る」

街は、ずっとこの音楽がかかっている。

なんてったって今日は、1年に1度の『サンタが来る日』だ。

（XX00年から、12月24日は、『サンタが来る日』と名づけられた。）

街の良い子は、早く寝ていて、親も8時には一緒に寝ていた。  
毎年この日だけは、9時になると、ほとんど人の姿がみえなかった。  
そんな、人のいない街を、一人の男が歩いている。

「ハァ」。今日は『サンタが来る日』か……。大人になった俺には、  
サンタは来ないだろうな……」

そう独り言を言いながら、男は家へと帰っていった。

〽次の日の朝〽

あの男が目覚まし、ポストを見ると、何かが入っている。

「サンタからのプレゼントかなあ」

と、苦笑いしながら、見てみると、チラシが入っており

『サンタ募集中！！』

と書かれていた。

つづく……

## 第0章・1話：プロローグの時（後書き）

どうも、初めまして「明日は明日の風が吹く」です

実は、文章を書くのも、考えるのも、とても苦手です（汗）  
そんな私ですが、ある友人が小説を書いているのを見て、

「自分もがんばってみようかな」

と思い、書き始めました。

誤字がたくさんあると思いますが、許してください。

（アドバイスがあれば、どんどん教えてください！）

それでは、また、「第1章・1」で、お会いしましょう！  
つづく…

## 第1章・1話：迎える時（前書き）

（登場人物の窓（No.1））

どうも、この物語の主人公「三田<sup>みた</sup>」です。23歳です。

昨年度、大学を卒業し、今は、仕事探しをしています。（彼女募集  
中！）

夢は「お金持ちになること」です。夢に向かって、全力でがんばっています！

（でも、弱気な性格です…）

こんな俺ですが、よろしく願います。

No.2につづく…

第1章 - 1話：迎え来る時

とある街の会社に、一人の男が、面接に来ていた。

「お名前は？」

「三田です」  
みた

.....

「では、最後にあなたの夢を教えてください。」

三田は、その言葉を待っていたかのように、

「お、お金持ちになることです！」

と、力強く答えた。が、面接官はあきれた顔をして、

「あなたはなぜ、この会社を選んだんですか？」

「もちろん、給料がいいからです!!」

その瞬間、面接官が固まった……

後日、面接の結果が知らされたが、もちろん、採用されなかった。三田はこんな感じで、1年も経たない間に、23社の面接を受け、すべて採用されなかった。

そんな三田にも、12月25日にサンタさんからのプレゼント（？）が来ていた。

そのプレゼントとは、1枚のチラシである。そこには、

～サンタ募集中!!～

3日後に迎えに来ます。

それまでに、どうするのか、考えておいってください。

これはボランティアではありません。『仕事』です！

と書いてあった。三田は考えた・・・

（サントは仕事なのか… ということは、「アレ」があるのか？…  
…）

それから三田は真剣に「3分」考えた。

3日後

〓XX11年12月28日〓

「ピンポン」……

チャイムが鳴った。ついに、迎えが来た。三田は玄関に行き、恐る恐るドアを開けてみる。すると、30cmくらいのぬいぐるみが置いてあった。いたずらかと思った瞬間、ぬいぐるみは三田を見て、

「三田さんですか？」

と、聞いてきた。

（これはトナカイのぬいぐるみじゃないのか… ま、まさか本物！？）

「わ、私が三田です」

「なんや、あんたが三田か。初めまして、あんたを迎えに来た「トナカイ」や。」

（か、関西弁！？ いや、問題はそこではない。こいつが俺を迎えに来たのか… こんなやつが？）

「誰が来るかと思ったら、こんな小さいガキか…」

がっかりしながら、三田は独り言を言った。すると突然銃が発砲したかのように、

「だれがガキや！ワシは37でアンタより年上やぞ！！言葉遣いに  
気<sup>き</sup>いつける！！！」

「は、はい。すみません。き、気をつけます」

三田は「勢い＋関西弁」の最強コンビにやられ、弱くなってしまっ  
た（元から弱いが…）

30cmの関西弁トナカイ > ちょっと強気から急に弱気になる  
三田  
となつてしまった。

「まあ、許したるわ。それよりのど渴いた。お茶くれ。」  
そう言いながら、家に入り、リビングに向かつていった。  
（なんで、勝手に人の家に入るんだよっ！）  
と、思いながらもお茶を沸かす、三田。

「はい、お茶です」

「おう、あんがと。…………… 味はまあまあやな。47点！」

「で、アンタ、サンタなるんか？」

「そのことなんですが……………」

少し間があつた。

「や、やっぱり俺、サンタにはなれません……」

つづく……

## 第1章・1話：迎える時（後書き）

こんにちは、「明日は明日の風が吹く」です

友人にアドバイスを受け、文章を長くすることにしました。（今までかなり短かったんです…）ないネタ絞ってがんばるので、よろしくお願いします。

第1章・1話どうでしたか？関西弁＋身長30cmの「トナカイ」と弱気な主人公「三田」。

意外な二人はこれからどうなっていくのでしょうか？

そして、三田はサントさんへの就職をあきらめるのでしょうか？

第1章・2話もよろしくお願いします。

つづく…

## 第1章・2話：ソリ発射の時（前書き）

（登場人物の窓（No.2））

どうも、三田を迎えに来た、トナカイの「スノウ」や！

性別：オス 体高：34.3cm 体重：2.6kg（体格指数：

22）方言：ちよい関西弁

最近はジョギング（二足歩行）も始めた、健康的な37歳！！

まあ、この鍛えた体で、三田を立派なサンタにするのが、わしの夢や  
（なれるかどうかは、わからんけど…）

そーゆーことで、よろしく！！

No.3につづく…

## 第1章・2話：ソリ発射の時

「や、やっぱり俺、サンタにはなれません…」  
三田の考えた結果だった。

数秒すると、スノウ（トナカイ）は口を開いた。

（こうなったら、アレを言うしかないか）

「報酬出るんやで！」

それを聞くと三田は驚いた顔をして、

「やっぱり出るんですか！！」

「ちなみに、どのくらい？」

すかさず三田は、大事なことを聞いた。

「それは、アンタ次第や。アンタ次第で、なんぼでも稼げるで。どうや、サンタにならんか？」

意外な言葉が返ってきた、と感じる前に

「はい、なります！！」

と言った。あまりの速さにスノウは慌てた。

（えっ、思ったより素直やなあ… まあ、ええわ）

「よ、よし、じゃあ行くから、準備しとき」

そう言うのと、スノウはまた、お茶を飲みだした。

10分後

「準備できました。」

「おう、そうか、じゃあそろそろ」

と言って、スノウは立ち上がり、外へ出た。三田もそれに続き、外に出た。すると、約2mのソリがあり、前には「機械」、後ろには

「エンジン」のようなものがあつた。スノウはそのソリの上に乗った。

その後に三田も乗った。

「カチャカチャカチャカチャ、カチャカチャカチャカチャ……」

スノウは前にある機械のボタンをいろいろ触っていた。そして、最後に

「モクテキチ、サンタランド（目的地、サンタランド）」

と言い終わると、機会から「ロープ」が出てきた。

「いいか、そのロープ握っとけ。絶対離すなよ！」

見ると、スノウはもう握っていた。三田も急いで握った。

また機会から声が聞こえ始めた。

「ハッシャ、5ビヨウマエ。（発射、5秒前）5、4、3、2、1」

「ブォーーーーー」

後ろのエンジンが点いた。その瞬間、ソリは、信じられない速さで飛んでいった。

「ビューーーーー」

「ビューーーーー」

「あばばばばばばばばばば……」

「ブ、ブブバ、イボ（う、うるさ、いぞ）」

「バ、バイ（は、はい）」

……



## 第1章・2話：ソリ発射の時（後書き）

どうも、「明日は明日の風が吹く」です

（あまり書きませんでした。が、「スノウ」は『二足歩行』です！）

3回目になっても、ネタは湧きません…

でも、がんばるので、アドバイスなど応援よろしくお願いします。

さあ、ついに物語が始まります！！

3話もよろしく願います。

つづく…

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0855u/>

---

三田苦勞す!!

2011年10月9日06時14分発行